

B：読み書き能力 チェックリスト

[読む]：国語の教科書を用意する。

- a. 学年相当の国語の教科書の文が読める。
- b. 学年より下の国語の教科書の文が読める。
- c. 漢字がいくつか読める。
- d. 漢字は読めないが、カタカナとひらがなは読める。
- e. 漢字、カタカナは読めないが、ひらがなは読める。
- f. ひらがなの一部が読める。
- g. 文字はまったく読めない。

○特記事項（例）

- 中国人児童なので、日本語読みはできないが、意味は理解している。

[書く]：自己紹介文（生徒には進路を含めた作文）を書かせる。

- a. 漢字かな交じり文で文法の間違いもなく書ける。
- b. 文法の間違いはあるが、漢字・カタカナ・ひらがなは問題なく書ける。
- c. 漢字は書けないが、カタカナ・ひらがなは書ける。
- d. 漢字・カタカナは書けないが、ひらがなは書ける。
- e. 文字はまったく書けない。

○特記事項（例）

- ひらがなの一部だけ書ける。自分の名前だけはカタカナで書ける。
- 中国人児童なので漢字は書けるが、ひらがな・カタカナは書けない。
ただし漢字については簡体字（中国で使用する漢字）を書く時がある。

*チェックポイント

日常会話の習得より、学習言語の習得に時間がかかることは、多くの研究者が指摘しています。特に日本語はひらがな・カタカナ・漢字という3つの文字を持ち、漢字の読み方も複数あるため、読み書きの習得には大きな困難を伴います。どの程度文字が正しく書け、また読めるのかを確認し、ひらがなの読み書きさえおぼつかない場合は、まずは1年生の教科書が読めるように、ひらがなの指導から始めましょう。

